



- ・ 文科省ガイドラインの概要
- ・ 海部小学校の実践
- ・ 校務に役立つA I活用

生成A Iが急速に普及し、教育現場でもその活用方法が模索されています。校務や授業に活用することで、教員の負担が軽減され、学習活動の充実も期待できます。

文科省ガイドラインの概要

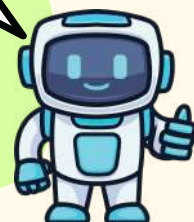
Q：生成AI に対する基本的な考え方は？

A：ガイドラインでは、

- ・ 「学校現場における人間中心の生成A Iの利活用」
 - ・ 「生成A Iの存在を踏まえた情報活用能力の育成強化」
- の2つの軸を基本的な考え方としています。

初等中等教育段階における
生成AIの利活用に関する
ガイドライン (Ver.2.0)

DOWNLOAD



Q：生成AI の活用において、求められる姿勢は？

A：生成A Iを有用な道具として捉えつつ、人間の判断や教師の見取りの重要性が強調されています。

また、児童生徒が生成A Iを適切に使いこなせるよう、各教科等で意識的に能力を育てていく姿勢が重要とされています。

Q：生成AIを活用する際に注意すべきリスクは？

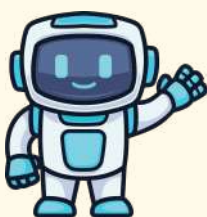
A：誤情報の可能性や個人情報・著作権侵害の懸念が指摘されており、情報モラル教育の一環として、これらのリスクを理解させることが求められています。

徳島県版
生成A I利用に関する
FAQ
(教職員向け)【Ver.2.0】

DOWNLOAD

掲載している「Q」の一部をご紹介します。

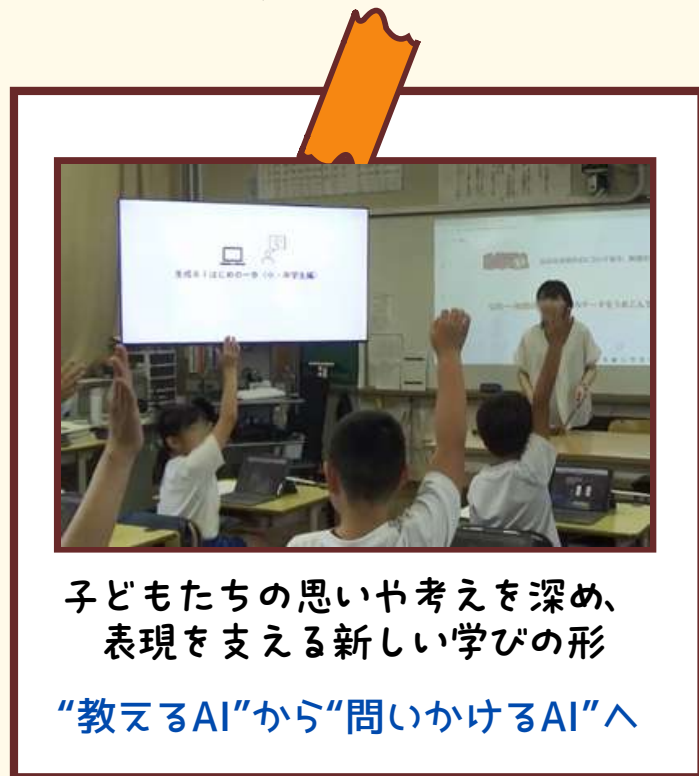
- Q1 新ガイドラインの主な変更点は？
- Q6 生成AIを利用すると、個人情報が流出するのでは？
- Q8 児童生徒に生成AIを活用させたいと考えています。
どのような手続きが必要？
- Q9 小学校段階の児童が直接利活用することについては？
- Q10 同意が得られなかった児童生徒への対応は？
- Q13 児童生徒が生成AIを使ったら、考える力が身に付かなくなるのでは？
- Q15 国のガイドラインや、AIと著作権について知りたいときは？



海陽町立海部小学校では、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科と連携して、生成AIを活用した学習が行われました。4年生の児童は、町内をフィールドワークして見つけたことや感じたことをもとに、自分の印象や気づきを作文にまとめました。

作文づくりの過程では、生成AIが児童に、「どんな色だった?」「どんな気持ちになった?」などと問いかけてきます。それに対して児童が自分の考えを言葉で表す、対話を通じた学びが行われました。AIの問いかけによって表現がふくらみ、考えが深まる場面がたくさん見られました。

完成した作文と、児童が撮った写真や動画は、GIS（地図上に情報をまとめるしくみ）に記録され、「記憶の地図帳 海陽町未来へのアーカイブ」として整理されます。これらは今後、海南図書館で地域の人に公開される予定です。



子どもたちの思いや考えを深め、
表現を支える新しい学びの形
“教えるAI”から“問いかけるAI”へ

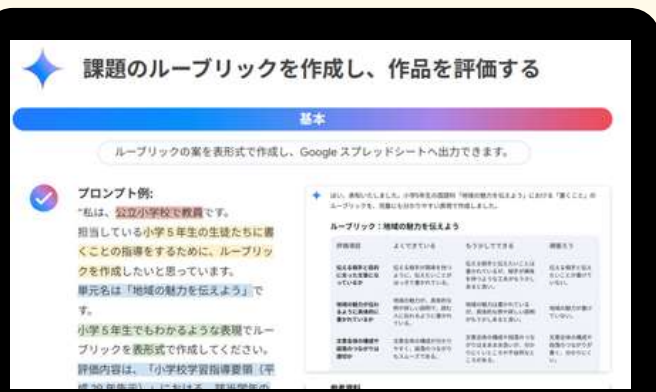
✎ 教育DX推進事業Ⅲ海部小学校公開授業1②のご案内はこちらから

✎ 令和6年度の海部小学校の成果報告動画はこちらから
徳島県GIGAスクールサポートサイト→教育DX事業研究指定校

※海部小学校では、保護者の同意を得たうえで、小学生にも安心な環境を整え、利用規約を守って生成AIを活用しています。
なお、使用しているのは、Geminiなどとは異なる仕組みのAIです。

試してみませんか？校務に役立つ生成AI活用

「学校のためのプロンプトライブラリ」では、Geminiアプリの活用方法や授業での実践例、すぐに使える指示文（プロンプト）が紹介されています。下にご紹介している内容も、その一部です。ぜひ一度お試しください。



学校のためのプロンプトライブラリ

- 授業で使う確認テストをレベル別に作成する
- 校務分掌会議の議事録を要約し、次のステップを明確にする
- 部活動の全体練習メニューと個別のサポートメニューを作る
- 保護者宛文書を作成し、外国人児童生徒・保護者へ発信する
- 課外活動の安全管理と緊急時対応の体制を強化する
- 特別な支援を要する児童生徒の学習支援を考える
- 研修内容を対話形式で相談し、実践への助言をしてもらう
- 教育実習生への効果的なフィードバックを提案してもらう
- 訓練のシナリオやシナリオの改善点を提案してもらう



https://services.google.com/fh/files/misc/gemini_prompt.pdf